

2019(令和元)年度 第5次総合計画施策評価シート【年度初め用】

担当部署	総務課	土木課	
------	-----	-----	--

基本目標	3 みんなで“守る”～思いやりのある安全・安心なまちづくり～
施策	13 交通安全・防犯

施策の方向・内容		具体的な事業内容
1	交通安全・防犯意識の高揚	(総務課) 今年度から3年間限定の新規事業である住宅対象侵入盗防犯対策補助金の周知を徹底し、防犯対策を促進する(目標100件)。 高齢者の免許返納を促進する施策の検討を行う。(開始目標 令和2年度)
2	交通安全・防犯施設の整備	(土木課) 事故が多発する地点や、地域住民から強く要望のある箇所では、交通安全施設や防犯施設の設置を進める。 小中学生の通学路の安全の確保に向け歩道整備を行うとともに、扶桑町通学路安全推進プログラムに基づき、関係機関と連携し通学路合点検を実施し、児童生徒の交通安全の向上を図る。
3	地域の交通安全・防犯活動の支援	(総務課) 地域における防犯カメラの設置を促進する。
4	交通安全・防犯情報の提供	(総務課) ひまわりあんしん情報メールを活用し、情報の即時提供を行う。
5		
6		

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値				
		目標値(R04)	H30年度	R元年度	R02年度	R03年度	R04年度
1 交通人身事故の削減	町内における交通人身事故発生件数(件)	152	128				
		144	○				
2 街頭犯罪の削減	町内における街頭犯罪発生件数(件)	121	103				
		114	○				
3							
4							

前年度の評価を踏まえた今年度の課題
1)2)4)交通安全、防犯は、警察や地域と連携し、施策実施する必要がある。 3)安全・あんしんなまちづくりに向け、地区要望に基づき効果的に交通安全施設を設置することができている。しかしながら、地区、住民からのカーブミラー、街路灯、ガードレール、カラー塗装等の交通安全施設の設置を望む声は多く、予算の範囲内でいかに効果的に設置ができるのかを検討する必要がある。

前年度の評価を踏まえた今年度の改善策・方針
1)2)4)交通安全、防犯については、タイミングを逸することがないよう啓発に努めるとともに、令和元年度からの新規事業である住宅対象侵入盗防犯対策補助金は、3年間の期間限定であることから、集中的・重点的に、積極的な活用について周知をしていく。 3)地区、住民からの要望には、カーブミラー、街路灯、ガードレール、カラー舗装等の交通安全施設の設置を望む声が多い。予算の範囲内で、緊急度や優先順位を考慮しながら着実に地区要望に応えていく。